

F108		児童福祉論 1	
英名科目名	Child Welfare		
大学名	京都府立大学		
連絡先	学務課教務担当 TEL:075-703-5118		
担当教員	山口 敬子 (公共政策学部 福祉社会学科講師)		
開講期間	2021年04月12日(月)～2021年07月26日(月) 4講時 14時30分～16時00分 (毎週月曜日)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	月曜日 4講時
単位数	2	履修年次	
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	授業への参加状況40%、試験:60%		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	67,600円 (入学考査料9,800円、入学料28,200円、授業料29,600円)		
別途負担費用			
その他特記事項			
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>本講義では、子どもとその家族・家庭への福祉をどのように保障するか、現代の児童・家庭を取り巻く状況、児童・家庭福祉の歴史や理念、制度、実施体制などの観点から総合的に理解することを目的とする。</p> <p>そのために、児童・家庭を取り巻く社会状況を理解すること、子どもの育て・育ちの保障、家族の支援に社会的な取り組みがなぜ必要なか理解すること、児童・家庭福祉にかかわる諸課題に関する学習を通じて、その実態や支援体制などを総合的に検証し、児童・家庭福祉全体像への理解を深めること、児童・家庭福祉にかかわる今日的課題を理解し、必要な支援や社会資源を考察できることを目標とする。</p>			
講義スケジュール			
<p>第01回 オリエンテーション</p> <p>第02回 子どもと家庭を取り巻く現状 (子育て環境をめぐる変化)</p> <p>第03回 子どもと家庭を取り巻く現状 (子どもの育て・育ちに関するニーズ)</p> <p>第04回 児童・家庭福祉の成り立ち (欧米における歴史)</p> <p>第05回 児童・家庭福祉の成り立ち (日本における歴史)</p> <p>第06回 児童・家庭福祉の法体系 (国際法)</p> <p>第07回 児童・家庭福祉の法体系 (児童福祉法)</p> <p>第08回 児童・家庭福祉の法体系 (児童・家庭福祉に関連する法令)</p> <p>第09回 児童・家庭福祉実施体制 (行政機関、財源、児童福祉施設)</p> <p>第10回 児童・家庭福祉の専門職・実施者</p> <p>第11回 子育て支援の実際とその制度</p> <p>第12回 児童・家庭における諸課題 (児童虐待)</p> <p>第13回 児童・家庭における諸課題 (ドメスティック・バイオレンス)</p> <p>第14回 児童・家庭福祉における連携、ネットワーキング</p> <p>第15回 総括</p> <p>教材の学習、課題提出、自習等を含め、単位取得に必要な学修時間を確保する計画である。</p>			
教科書	資料や関連文献については講義の中で適宜配布・紹介する。		
参考書			